

2024年度 第21期
特定非営利活動法人シャロームの会
事業報告

I 事業の総括

(1) 当法人は、2003年12月25日法人設立以来「あなたはそのまま素晴らしい存在です(シャローム)」という言葉をもとに、一人ひとりの限りの可能性と個性を尊重しながら活動しております。

第21期は、2009年4月に開設した「ノア」の活動を終了して、「エリム事務センター」の拡大を図り、他のB型事業所とともに、工賃向上に向けた活動を図る体制を構築いたしました。

また、西宮城野のパレビルを購入できましたことは、これからの活動の大いなる励みとなります。

事業運営は前期同様に困難の一年となりましたが、会員の皆様から温かいご支援を賜り、スタッフの緊密な連携体制によって別紙活動報告書、計算書のとおり各事業を無事に実施できましたことを心より感謝申し上げます。

(2) 障がい者福祉事業につきましては、多機能事務所として「伴走型支援」を継続し、メンバーの社会進出へ向けた支援体制を構築いたしました。

(3) 企業主導型保育事業は当法人直営から4年が経過、少子化の影響で定員割れという大きな課題が生じましたが、ノキシタという地域共生事業のモデルを担うべく、今後も活動していきます。

(4) 地域共生事業である地域食堂「まざらいん食堂」「あがらいん食堂」「こどもレストラン」の3事業の開催につきましては、今期も宮城県共同募金会のご協力のもと実施いたしました。

II 法人の活動

1. 理事会の開催

- ①第1回 2024年4月20日 太陽とオリーブ会議室
- ②第2回 2024年9月25日 太陽とオリーブ会議室
- ③第3回 2025年2月 6日 太陽とオリーブ会議室

2. 監査会の開催

2024年5月20日 太陽とオリーブ会議室

3. 定期総会の開催

2024年5月25日 第21回定期総会を仙台市中央卸売市場会議室にて開催

4. 届出申請に関する件

2024年5月28日 宮城県へ事業報告書を提出

2024年度 活動報告

4月	●仙台ハーフファミリーマラソン ●トレッキングレク	5月	●カレーレク、スタバレク ●春号 通信発送 ●定期総会(卸売市場3階)
6月	●ひまわりの会 ●感染症対策委員会 ●スタッフ研修(テーマ:依存症と共に生きる、更生保護研修)	7月	●中堅者研修 ●夏ギフト発送 ●各部署レク
8月	●虐待防止委員会、BCP研修 ●スタッフ研修(テーマ:事例検討)	9月	●感染症対策委員会 ●ひまわりの会
10月	●全体レク芋煮会 (ハ木山ベニランド) ●各部署研修旅行実施	11月	●21周年シャローム文化祭(エルパーク仙台) ●新寺防災避難訓練 ●秋・冬合併号 通信発送 ●スタッフ研修 (テーマ:依存症への理解と対応)
12月	●冬ギフト発送 ●感染症対策委員会 ●各部署クリスマスレク ●お寿司レク	1月	●各部署レク (新年ピザレク、鍋パーティー)
2月	●スタッフ研修 (テーマ:虐待防止研修) ●虐待防止委員会 ●ひまわりの会	3月	●リーダー・中堅者研修 ●感染症対策委員会

<その他>

◆21周年 周年企画

「シャローム祭～違いは才能！個性を楽しめ！ラッコ達の文化祭～」と題して周年祭として初めて文化祭を企画、実施した。

スタジオホールでは「よさこい」や「かるた大会」の他、プロによるライブ演奏が行われた。

ギャラリーホールでは各部署の活動写真やメンバーさんの作品を展示。ポコからはメンバーさんが試作を重ねた新商品の試食会を開催した。

全体で137名の来場者があり、部署を超えて賑やかな交流の場となった。

◆あがらいん食堂(里)、まざらいん食堂(新寺)、こどもレストラン(小路)を毎月一回実施。

駄菓子屋カメちゃん毎週木・土実施。

【会員数】

2025年 3月31日現在

正会員	法人団体会員	17団体
	個人会員	59名
計		76会員

賛助会員	法人団体会員	9団体
	個人会員	52名
計		61会員

寄付会員	個人会員	2名
計		2会員

合計 139会員

各部署 活動状況について

部署名	みどりの牧場	リーダー名	中鉢皓大
スタッフ名	佐々木幸穂、相沢桂子		
定員	10 人	昨年度平均出席人数	6～8 名
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
○R6 年度は通所率の向上を強く意識した活動を行いました。役所や関係機関との連携や情報共有を行うことで新規契約者の獲得につながり、また利用者みなさんへの面談を通してニーズを把握し、訪問や送迎を積極的に取り入れ通所しやすい環境を整える等を行った結果、定員 10 名に対し契約者 17 名、前年度平均通所率 31%から平均通所率 64.5%（最高 78.2%）まで向上させることができました。 今後は通所率を維持しながら「楽しく学ぶ」そんな生活訓練として活動していきたいと考えています。			
② 今年度の活動目標			
○通所人数が増えたことで、利用者の方々一人一人への支援が疎かにならないようスタッフ間で連携し一人一人に寄り添った細やかな支援を行っていききたいと考えています。 ○研修や勉強会等に積極的に参加し、支援力の向上に努めていきます。 ○通所率向上や通所意欲の向上を目指し利用者さんへ還元できる制度（皆勤賞や目標値の設定）を作成したいと考えています。 ○生活訓練の新たな加算を獲得いたします。			

部署名	グレース	リーダー名	佐藤 素子
スタッフ名	山下はる奈・坂田啓一・鈴木隆志・高橋滋・土屋章子・阿部倉まき子 ・坪野あや・佐藤喜美雄		
定員	15 人	昨年度平均出席人数	16.4 名
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
現在のグレース登録者は 41 名です。一昨年と比べて去年度は約 7%の通所率アップとなりました。特に 2 月以降は 130%を超える月もあり、順調に新規メンバーさんが増加しております。そのなかで一般就労を目指すメンバーさんも何人かいらっしゃり、ハローワーク同行等の就労支援も活発に行っています。 授産の活動では、喫茶「太陽とオリーブ」の運営のほかに豆しば工房さんの小物作り、お寺清掃、フリーペーパーの配布などを行っております。太陽とオリーブでは夏からメニューを大幅にリニューアルし、新しいお客様層の獲得ができました。また、豆しば工房さんの作業ができるメンバーさんが増えて仕事の幅も広がり、SNS などでも活動について紹介していただきました。 また、去年に引き続き健康面の取り組みとして、スポーツレクやファミリーマラソン大会参加、毎日のラジオ体操など体を動かす機会を多く持ちました。マラソン大会では会全体で 30 名以上のスタッフとメンバーさんが参加して一緒に気持ちの良い汗を流しました。そのほか、カロリー調整した野菜が豊富で美味しいまかないを安く提供しており（1 食 200 円）、それもメンバーさんに好評をいただいております。			
② 今年度の活動目標			
新リーダー：渡邊 沙織			
今年度は喫茶の活動の他にも外部作業としてお寺の掃除やフリーペーパーの配布、小物作りなどの他にも、事務作業の切り出しを行いながら様々な活動に入ってもらおうと思います。就労意欲の高い方も多く在籍しているのでハローワークや企業実習見学の同行を行っていきスキルアップを目指していく方の支援にも力を入れていきます。 また体を動かしたい方、楽しいことが好きな方も増えてきているのでみんなの意見を取り入れながら企画を行っていきたいです。スタッフは外部の研修などにも参加をしてより質の高いサービス提供ができるようにそれぞれスキルアップをしていこうと思います。			

部署名	ゆめの里 エイト	リーダー名	熊谷美樹子
スタッフ名	熊谷美樹子、水間文恵、小松謙一、伊藤宏行、谷関邦江、菅井尚子		
定員	10 人	昨年度平均出席人数	7.7 名
③ 活動内容(昨年度の活動内容)			
登録者は出入りがあり 1 名追加の 13 名となりました。 今年の活動は水道メーター解体、ポスティング、畑作業、モードテラのボール洗い、GH 環境整備等、外部作業として、食育フード清掃、ノキシタ窓清掃、地域住民宅の草刈り、荷物運び等を行いました。積極的に外部作業に行く人とゆっくり過ごしたい人でメンバーさんが 2 極化しており、ゆっくり過ごしたい人の仕事が少ない時期もありましたがみなさん自分のペースで楽しく活動しています。新寺小路市に初参加や毎月のあがらいん食堂等、地域との交流を行いました。			
④ 今年度の活動目標			
4 月から新スタッフ 2 名、新メンバー 2 名（内支援学校卒業生 1 名）と新体制でのスタートになったのでスタッフ体制を整え、メンバーさん 1 人 1 人の特性にあった作業の提供と気持ちにより沿った支援をしています。メンバーさんの増加に合わせて畑を増やして作業の拡充と農作物を使った商品開発を他部署と連携して行います。地域活動はこれまでの活動の継続に加えてエイトを活用したイベントの開催を行います。			

カフェ・オリーブガーデン	リーダー名	今野 陽子
スタッフ名	今野 陽子、葛西 美香子、北條 きよ子、河村 幸子	
定員	5 名	平均出席人数 6 名
活動内容		
2023 年 12 月からエル・パーク仙台のフロア修繕工事が始まりました。フロアスタッフ向けのメニューを作成し、他部署の協力を得ながら 1 日 1 万円の売上目標をほぼ達成。2024 年 8 月に工事は終了しました。工事中に始めた月替わりランチが好評の為、引き続き月替わりメニューの提供を行っています。 6 月に光明支援学校より実習生受け入れ 3 日間の実習を行い、新年度の入所が決定しました。10 月と 11 月に利用者さんが 1 名ずつ退会しましたが、3 月末に 1 名入所しました。 通所率の目標である平均 120%を達成しました。ガーデンでは営業活動以外にも余暇の充実やスキルアップを目指し、レクリエーション・研修・ミーティングを毎月行っています。メンバーさんからもアンケートを募り、希望を叶えられる限り実現していけるように工夫しています。 1 月から人事異動でパートタイムスタッフ 1 名変更となりましたが連携して安定したチーム支援を行う事が出来ています。		
今年度の活動目標		
1 日 1 万円以上の売り上げと原価率 40%以下を目指して季節のメニューや行事に合わせたイベント等の変化ある営業活動を行い集客アップとを目指します。 見学や体験実習の受け入れは可能な範囲で検討し、平均 130%の通所率を目標とします。 通所活動と余暇活動に力を入れ、メンバーさんの希望を聞き取りながらレクリエーションや研修、実習を行い充実した活動提供を目指します。 スタッフ同士のコミュニケーションを充実させ、スタッフのスキルの向上を目指すと共に事業所の目標を達成する事を目指します。 他部署との連携を密に、誰もが安心して集える居場所になりたいです。		

部署名	ノア	リーダー名	石川 栄子
スタッフ名	渡邊沙織、今野史也		
定員	10 人	昨年度平均出席人数	5.5 名
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
就労移行支援ノアでは就労に向かうメンバーさんへのサポートを行い、各講座や合同面接会、企業情報交換会等の参加を行いました。今年度は初めて支援学校の高校生を受け入れ就労アセスメントを行いました。また、宮城県のワークダーバーシティ（らしくワーク）の取り組みにより手帳を所持しない方を対象とした就労支援の受け入れ（見学のみ 1 名、体験のみ 4 名、本利用 2 名）を受け入れました。 令和 7 年 3 月末でのノア閉所が決まり、メンバーさんやご家族への説明を丁寧に行いました。4 月以降の不安を訴える方が多くいたため、丁寧に面談を行い希望する事業所の体験を進める等、1 月以降はサービス終了に向けてのフォローを行いました。今年度は就職者 3 名、復職者 1 名、B 型へ移動 9 名、生活訓練へ移動 1 名、退会者 3 名となりました。			
② 今年度の活動目標			
就労移行支援ノアは令和 7 年 3 月末に閉所となりました。今後は就労継続支援 B 型のエリム事務センター・若水で、ノアで蓄積した情報を活用しつつ就労へのサポートを行っていきます。引き続きワークダイバーシティ（らしくワーク）の取り組みにも協力していきます。			

部署名	Be・さぽーと	リーダー名	石川 栄子
スタッフ名	渡邊沙織、今野史也		
定員	20 人以下	昨年度平均出席人数	9 名
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
・各企業または事業所での定期面談（月一回以上実施） ・不定期での相談、面談の対応 ・ノアと合同のひまわりの会（2 ヶ月に 1 回）、ノア合同研修旅行（女川方面）の実施 就職後半年を経過して定着支援の契約をした方が 7 名、3 年を経過して支援を離れた方が 2 名、R6. 4 月～R7. 3 月の間に離職された方 4 名となりました。契約された方はシャロームの会の移行支援を利用していたメンバーさんのため、定着支援契約前にも面談を継続しており、スムーズに定着支援へと結びつくことが出来ました。			
② 今年度の活動目標			
・今後はシャロームの会の各部署から直接就職する方が増えていきます。そのためひまわりの会や全体レクレーションを通して早いうちから関係性を築けるようにしていきます。 ・企業様との面談の機会に本人だけでなく周囲の困り感を聞き取り、振り返りや課題の明確化をしていきます。 ・担当の変わったメンバーさんも安心して仕事の悩みを相談ができるよう、引き続き面談やメール、電話を利用して寄り添っていきます。			

部署名	エリム事務センター若水	リーダー名	菊地 仰
スタッフ名	石川・水間・山田・泉田・藤山		
定員	20人	昨年度平均出席人数	8名
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
<シャロームの会委託活動> ・会計王入力・各事業所のパンフレット折り・市場食券売上入力 <外部委託活動> ・まり、キーリング、木玉づくり（豆柴工房様） ・チラシ折り（からだ元気治療院様） ・メール送信（マナティ五橋様） <レクレーション> ・外出プログラム、交流会 （街カフェ巡り、シャローム内の飲食店見学ランチ、クリスマス会、松島へ研修旅行）			
② 今年度の活動目標			
●出勤率90%以上を継続させる（作業内容の充実化とフォロー体制の見直し。毎日通所者全員と挨拶以外の会話をし、信頼関係を深める） ●オリジナル作成と販売にも力を入れる（シャロームの名前やイラストが入った付箋やボールペン等の作成、HPでの売上増を含めギフト販売も力を入れる） ●CADを扱えるスタッフ、利用者さんを2名以上育成する（毎週1回のCAD学習時間を設け、講座資料などを共有し、共同で学習を進める） ●外部業務への参加を月1回から始める（楽天球場の清掃等、単発でも請け負える業務を複数探して参加する。その中で継続できそうな物を見つける）			

部署名	オリーブの小路	リーダー名	石橋 文彦
スタッフ名	三上、三浦、高橋、佐藤、渡邊、阿部、神田		
定員	10人	昨年度平均出席人数	8.5名
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
オリーブの小路は年度初めに8割程度の出席率を確保しておりましたが11月～2月にかけて入院や長期の療養をする利用者さんが増え一時6割台まで落ちました。その後、復帰や新規の利用者様が増え3月には8割に回復しております。授産活動のスूपカレーは順調にお客様を増やし月間130万円の売上を確保し、工賃原資を20万程確保しております。支援経験のある調理師が配属になり、厨房での利用者の活躍の場が大きく拡大し、長く活動している利用者さんも新しく入った利用者さんもやりがいのある活動が増え更に活気があふれるようになりました。			
② 今年度の活動目標			
今年度は4月に一気に5名の利用者さんが増え、皆さんの定着が第一の目標になります。手狭になった店舗や休憩室の更なる改良を行い、少しでも快適に小路に通ってもらえるような環境を整えていきたいと思ひます。また複合施設オープンビレッジノキシタにある強みを活かし、近隣施設の清掃業務など飲食に限らず、利用者さんの活動の幅を広げていく様な活動を創出していきます。また、定期的に店舗を休業しスタッフ会議や研修に積極的に参加するなど人材育成にも力を入れていきたいと思ひます。			

部署名	キッチンハーモニーポコ→	リーダー名	曾根美幸
スタッフ名	野沢結加、湯浅正栄、田中育子、藤沢美保、木村裕美、寒河江恵		
定員	15人	昨年度平均出席人数	366人
1. 活動内容(昨年度の活動内容)			
・昨年度の平均通所率は109.5% ・総売上¥12,256,591、売上日平均¥51,511、売り上げの内訳は配達が全体の26.6%、まかないが26.6%、店舗販売が51.7%となりました。3月は¥800～¥1,500の予約弁当注文が例年より多かったです。 ・米を含む原材料仕入れ価格、包材価格が上がった事と、まかないの作成個数が増えたこともあり包材を含む原価が62.4%となりました。 ・昨年度発足の商品開発部の活動は支援と絡む部分も多く、一般就労に向けて必要な知識やコミュニケーションスキルを身に付けることができる機会となりました。特に自分で企画した商品に対しての責任が芽生えたと感じます。回を重ねる毎にメニュー案が沢山出るようになりました。開発部メンバーの中からサブリーダーの立候補が数人出ました。 ・出席率が良かったので今年度からレクや旅行を平日に行うことにしスタッフの負担を減らしました。研修旅行は西宮城野GHと合同で開催し、るーぶる仙台で仙台城址観光などに行きました。			
2. 今年度の活動目標			
・商品開発部の活動を継続し、月一回のミーティングと試作を行い、毎月新商品を販売する流れを作りながら、就労に向けてのそれぞれの課題や強みを見つけていけるような活動にしていきます。一般就労を目指すメンバーさんが自信をつけていける様な関りを目指します。 ・漫画やアニメ、ゲームなどの同好会の活動を開始して、余暇活動の充実をします。 ・製菓の許可証を取り、販売できる商品のバリエーションを増やしたり、外部販売をできる商品を企画作成できる環境を整備します。			

部署名	洋食厨房オリーブの杜	リーダー名	小野寺健
スタッフ名	小野寺、鈴木、本城、奥津、佐藤、岩本		
定員	25人	昨年度平均出席人数	11名/日
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
昨年度は登録15名からスタートし、緩やかではあるがメンバーさんを増やし18名となった。9月の人事異動に伴い、赤字解消に向けてメニューの削減、価格の値上げ、人件費削減、営業時間変更を行い、仕入業者の選定やスーパー等での買い出しを取り入れ、発注量の調整を行い、過剰在庫を減らしたことで原価率を56%から43%まで下げることができた。11月以降、目標とした黒字化を達成・継続している。 支援面では、営業時間を7時30時に変更したことでメンバーさんと活動時間を合わせることで、より支援に重きを置ける体制へ繋がった。 店舗の営業面では営業時間変更やメニュー削減もあったが、食材の高騰に大きく悩まされた。出来る限り価格を維持し毎日ご来店くださるお客様にご満足いただけるよう、期間限定メニューやランチプレートなど限定メニューに工夫を凝らして提供した。			
② 今年度の活動目標			
・メンバーさんひとり一人が自分で決めた目標を達成できるよう継続する力を養う。 ・杜の活動や外部実習を通して自己理解を深め、社会に出るための準備を行う。 ・原価の見直しや改善を行いながら、お客様に満足いただけるお店作りを行う。 ・店舗の黒字化を安定させ、授産から工賃を支払える体制を維持する。 ・通所率60%以上を目指す。			

部署名	グループホームハーモニーⅠ	リーダー名	廣庭 しおり
スタッフ名	小平文江、今ユミ、佐藤富子、松崎紀利枝、阿部美智子、三村郁恵、阿部育子		
定員	8人	昨年度平均出席人数	
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
・シャロームの会でパレフビルを購入しました。それに伴い重要事項説明書の変更を行いました。 ・2025年2月からサテライトが開設となりました。近くのアパート2部屋を借りてグループホームよりも一人暮らしに近い環境で生活を送ることができます。定員2名で現在男性1名・女性1名が入居しています。 ・2月より訪問看護が入ることになりました。月1回看護師がグループホームを訪問しメンバーさんの健康管理を行います。 ・9、10月に各居室のエアコン工事を行い新しいエアコンが設置されました。 ・3月に地域連携推進会議のグループホーム見学会を行い見学会を通してグループホームと地域との交流が出来ました。 ・スタッフミーティングでメンバーさんの事例検討を行いメンバーさんについての理解を深めることが出来ました。 ・メンバーミーティングの出席率が上がりミーティング内での発言が増えたことで、メンバーさん同士でルールを新しく決めることが出来るようになりました。			
② 今年度の活動目標			
・サテライトは入居期限がおおよそ2年になっているため自立に向けて目標を確認しながら卒業へ向けて支援をしていきます。 ・グループホームはステップアップしたい人・一人暮らしに向けて目標を持っている人等一人一人の状況に合わせて対応をしていきます。 ・メンバーさんの障害特性に合わせて対応ができるようスタッフミーティングで事例検討を今後も行い全体で情報共有し皆で対応方法を考えていきたいと思います。 ・地域連携推進会議を通して地域の方との交流をはかり関係づくりをして、グループホームについての理解の促進をしていきたいです。 ・グループホーム・サテライト居室に空きがある時は関係機関に営業をかけ見学・体験を積極的に受け入れていきます。			

部署名	ゆめの里	リーダー名	小松 雅貴
スタッフ名	小松雅貴、竹ヶ原かよ子、伊藤宏行、小川忠美、今野栄二、村岡哲男		
定員	10人	昨年度平均出席人数	名
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
昨年度は5月に定員10名が満室となり、3月に一人ステップアップの為卒業された。現在は9名となっている。活動としてはレクレーションに力を入れて、計6回のレクを行った。外食レク、BBQレク等のレクを行い、メンバーさん同士の交流を深めることが出来た。また、月1回行うメンバーMTでは、皆で生活の問題について話し合うなどの活発な意見交換が出来た。支援としては、昨年度から引き続き「出来る力を奪わない」をメインに、個別に合わせて、そしてステップアップ出来るようニーズに合わせた支援を行った。			
② 今年度の活動目標			
今年度もレクレーションには力を入れたい。日々生活を送る場所では、小さなことが不満やストレスとなりやすい。その為相互理解や交流を深めるにはレクは有効と考えている。楽しい時間を共有することで、互いの生活で気になる点がある程度許せるのではと思っている。支援においては、スタッフMTでの日々の生活状況の情報共有と、支援計画の共有をしっかりと行いたい。人によって言うことが違ったりしないよう、支援計画に則った声かけやアドバイスをして、ズレがないようにしたいと思う。			

部署名	シャロームの杜ほいくえん	リーダー名	園長 加藤 陽子
活動内容(昨年度の活動内容)			
定員19名/在園児11名（6月より13名）			
【園児の確保状況】			
コロナの影響で少子化が想像以上に加速し、認可の保育園でさえ空きがある今年度。毎年春から定員Maxだった当園も、さすがに今年度は厳しい状況でのスタートとなりました。そんな中、4,5月に見学にいらした0歳児が6月から2名入園決定。職員一同、大喜びです。 今の時代はネットからの情報が一番という事から、現在保育園でもインスタやHPに注力して、当園の良さを伝えるべく奮闘しています。 どなたかお知り合いに保活中あるいはお子さんを出産する予定の方がいらっしゃいましたら、インスタやHPを覗いていただけるよう声を掛けていただくと嬉しいですm(__)m。見学も随時歓迎です！			
【ダイバーシティ保育園～OpenVillageノキンタ内の保育園として～】			
昨年度の豆まき会は、エンガワの「のびのびエンガワ体操クラブ」の会員さんとのコラボレーションで行いました。また、卒園式は当園らしさを前面に出し、ボランティアさんや他事業所のスタッフの方達をお呼びして、温かな式を執り行いました。また、式後に玄関から保護者の方達が出ると、そこにはtagomaruの利用者さんやスタッフ、エンガワの利用者さんが拍手で出迎えてくれて、保護者は感激の涙。大成功の式となりました。			
【保育理念】			
今年度、保育園の魅力を再検討し、理念・方針を変更しました。内容は以下のとおりです。今後はこの理念に向けて運営していこうと思います。			
♣ 保育理念：生きる力の”根っこ”を育てる <興味の翼・思いやりの心・愛される力>			
🔧 保育方針： ・多様な方達との日常的な関わりにより、こども達が様々な価値観に触れる機会を提供する。 ・より多くの経験ができるように、職員はこども達と多様な方達とのかけ橋になる ・0歳6ヶ月から2歳のこども達に特化し、一人一人の発達に合わせた手厚い保育を行う。			

《繋がる力・地域共生活動にも力をいれていきます》

今年のみやぎチャレンジプロジェクトでは 目標100万円に対して 110名様、24団体・会社様より 1,263,425円の募金を頂戴しました。

皆様からの力強いお支えを元に、これからも地域の力を借りながら、地域と共に、つながる力を増して活動していきたいと思います。

《昨年度の活動》

- 田子西子どもレストラン(毎月第1土曜日)
- 新寺まざらいん食堂(毎月第3土曜日)
- 愛子あがらいん食堂(毎月第4木曜日)
- 夏空の星座づくり(8/17)
- 秋休み親子の書の会(10/14)
- 秋の収穫祭(9/28)
- 冬休みお留守番弁当(12月)
- 東古地図を広げて語る会
- おこもり書の会

